



第16回イラク・日本合同学術会議

The 16th Iraq-Japan Joint Academic Conference

“Current Situation of the Japanese Studies in Iraq”

「日本とイラクの歴史学、地域研究、考古学、教育学における学術交流：イラクでの日本研究と日本語教育の現状を中心に」



日時：2025年12月6日(13:00-17:30)

7日(10:00-18:00)

会場：早稲田大学 第3号館10階 会議室1

科研費
KAKENHI



プログラム(Day 1)

12月6日 Panel 1: 戦争と和解

War Memory and Reconciliation of Post-war Japan and Iraq

小熊英二(慶應大学)／浅野豊美(早稲田大学)／梅森直之(早稲田大学)
M.al-Qaysi (Univ. of Baghdad)／ A. al-Ameri (Mustansiriya Univ.)／ 酒井啓子(千葉大学)

プログラム(Day 2)

12月7日 Panel 2: イラクでの日本研究の現状 Development of Studies on Japan and Japanese language in Iraq

B. Ansaf (Univ. of Baghdad)／大野翔太郎(JICA)／ A. Sachit (UoB)／ M.al-Qaysi (Univ. of Baghdad)／ A. al-Ameri (Mustansiriya Univ.)／ N. al-Karawi (Iraqiya Univ.)

Panel 3: 考古学の過去と現在

Archaeological Research in Iraq; Past and Present

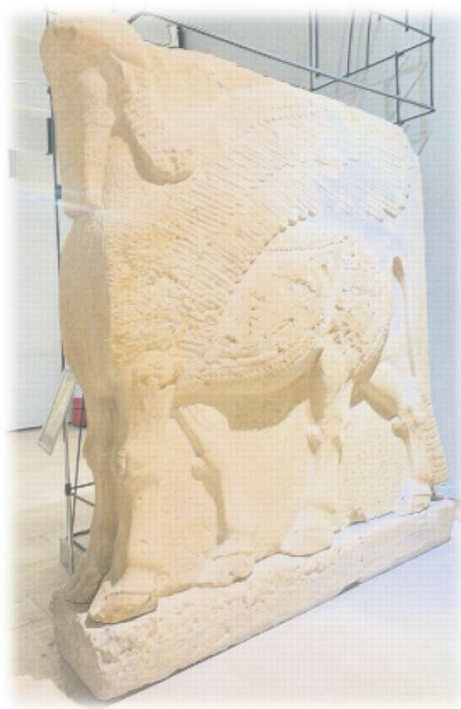
L. Hussein (Univ. of Baghdad)／ 小口和美(国士館大学)／ 川上直彦(長崎国際大学)

Panel 4: クルド研究 Kurdish Studies in Japan and Situation in Northern Iraq

M. Khalili (東京外国語大学)／ G. al-Khattawi (Univ. of Baghdad)／ S. Ahmadian (東京外国語大学)

共催：国際交流基金日本研究プロジェクト助成プログラム

科学研究費・国際先導研究(23K20033)「普遍的価値と集合的記憶を踏まえた国際和解学の探求」(代表 浅野豊美)／基盤研究A(24H00136)「政治的危機下の拡大中東からの移民難民におけるネーション意識と知の生産メカニズム」(代表 酒井啓子)



2007年以来バグダード大学を中心としたイラク有数の大学における研究者と、日本の中東研究を始めとして歴史学、地域研究、考古学、教育学などの研究者を交えて、日本・イラク学術合同会議はこれまで**15回**にわたり、イラクあるいは日本国内で実施されてきました。

本年は、国際交流基金と早稲田大学の協力を得て、「イラクにおける日本研究の現状」をテーマとし、日本とイラクの研究協力の推進を目的として日本・イラク合同学術研究ワークショップを開催します。

みなさまの積極的なご参加を、お待ちしております。(千葉大 酒井啓子)

(問い合わせ先：center-glbl@chiba-u.jp)

主要登壇者紹介



イラク側： Baha al-Ansaf バグダード大学学長

Ali al-Sachit バグダード大学文学部長

Laith Hussein バグダード大学アラブ復興センター長

Mahmoud al-Qaysi バグダード大学文学部

Alaa al-Ameri ムスタンシリーヤ大学文学部



日本側： 浅野豊美 早稲田大学政治経済学術院

梅森直之 早稲田大学政治経済学術院

小熊英二 慶應義塾大学総合政策学部

大野翔太郎 JICA中東二課長

小口和美 国土館大学グローバルアジア研究科

川上直彦 長崎国際大学 人間社会学部

酒井啓子 千葉大学グローバル関係融合研究センター長

